

災害や国民保護事態発生時に用意するもの

備えの必要性

- 大規模な災害や武力攻撃事態の発生など、いつ、避難生活を送らなければならない時がくるかわかりません。
- 発生後に非常持出品や備蓄品を用意するのでは遅いので、日頃から、有事を想定した持出品や備蓄品の準備をしておきましょう。

準備しておくもの

● 非常持出品一覧(災害・国民保護共通)

携帯用飲料水

食品(カップめん・缶詰・ビスケット・チョコレートなど)

貴重品(預金通帳・印鑑・現金など)

パスポートや運転免許証

緊急用品

ヘルメット、防災ずきん

軍手(厚手の手袋)

懐中電灯

衣類(セーター、ジャンパー類)

下着

毛布

携帯ラジオ・予備電池

マッチ、ろうそく(水にぬれないようにビニールでくるむ)

使い捨てカイロ

ウェットティッシュ

筆記用具(ノート・えんぴつ)

新聞紙(防寒にも役立つ)

大きなゴミ袋(防寒にも役立つ)

【小さな子供がいる家庭】

ミルク

紙おむつ

ほ乳びん

【緊急用品の内容】

三角きん・包帯

消毒ガーゼ・きれいなタオル

ばんそうこう

体温計

はさみ・ピンセット

消毒液

常備薬(かぜ薬・胃腸薬など)

安全ピン

● 備蓄品一覧(災害・国民保護共通)

飲料水(9リットル)

アルファ米(4～5食分)

ビスケット(1～2箱)

板チョコ(2～3枚)

缶詰(2～3缶)

下着(2～3組)

衣類(スウェット上下、セーター、フリースなど)

● 武力攻撃時に必要なもの

武力攻撃発生時には、化学剤、生物剤、核物質が用いられることもあるで、皮膚の露出を極力抑えるために、手袋、帽子、ゴーグル、雨ガッパなどを着用するとともに、マスクや折りたたんだハンカチ・タオル等を口及び鼻にあてて避難することが必要となる場合がありますので、これらについても備えておくことが大切です。

※ 本記事については、国民保護ポータルサイト(kokuminhogo.go.jp)をもとに作成しています。

釧路方面厚岸警察署